

令和7年3月5日
(一社)日本冷凍空調設備工業連合会

一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会（略称：日設連、会長：國松孝一）はこの度、第42回冷凍空調設備の優良省エネルギー設備顕彰受賞の5設備を発表した。

最優秀賞にあたる、財団法人省エネルギーセンター最優秀賞には、「改修設備部門」として、(株)精研（大阪府中央区）が施工し、大塚食品(株)釧路工場 FN 工場（北海道苫釧路市）に導入した「CO₂冷媒空冷ブラインチラーによる寒冷地でのプロセス冷却設備の省エネルギー化」が受賞した。

また、優秀賞には、新設設備部門として、(株)ダイキンアプライドシステムズ（東京都港区）が施工し、(株)SUBARU 群馬製作所北本工場（埼玉県北本市）に導入した「大空間工場空調省エネルギーシステム」が受賞した。

奨励賞には、運転・保守管理部門として、シー・エイチ・シー・システム(株)（東京都世田谷区）と大久保産業(株)（徳島県徳島市）が施工し、大久保産業(株)本社（徳島県徳島市）に導入した「クラウドサービス（Ultimate IAQ）による室内空気質のビッグデータを活用した空調機器の運転適正化による省エネの実現」、改修設備部門として、三菱重工冷熱(株)（東京都港区）が施工し、カネフジ冷蔵(株)本社（北海道北斗市）に導入した「自然冷媒 CO₂ 大型直膨ユニットを用いた冷蔵倉庫設備改修にともなう省エネ化」、同じく改修設備部門として、(株)三冷社（東京都中央区）が施工し、関東運輸(株)県央センター（群馬県前橋市）に導入した「地球環境の負荷低減を目指した CO₂ 冷媒を使用した冷凍冷蔵設備」がそれぞれ受賞した。

審査委員会は、川瀬貴晴・千葉大学名誉教授を委員長に、学識経験者、メーカー、設備設計者等で構成され、去る2月21日、機械振興会館で開催された。

当該顕彰は、昭和58年から毎年省エネルギー月間である2月に開催され、今年で42回目となる。当該顕彰の特徴は、省エネ性・環境性に優れた冷凍空調設備を施工した業者を顕彰するとともに、当該設備を導入した設備所有者に対しても感謝状と記念品を贈呈するところにある。

また、毎年、日設連では、最優秀賞を受賞した設備の研修見学会を行っており、詳細はこれから検討する予定。

顕彰式は、3月19日（水）午後3時30分より、KKR ホテル東京（東京・千代田区）で開催される。同時に、記念講演、記念パーティーも開催する予定。

担当：日設連 大沢

第42回優良省エネルギー設備顕彰受賞者一覧

令和7年2月21日
(一社)日本冷凍空調設備工業連合会

No.	部 門	設 備 施 工 者	設 備 所 有 者〔設備建物名〕	テ ー マ
1	一般財団法人 省エネルギーセンター最優秀賞 〔改修設備部門〕	株式会社 精研 (大阪市中央区)	大塚食品株式会社 〔釧路工場 FN工場〕 (北海道釧路市)	CO ₂ 冷媒空冷ブラインチラーによる寒冷地での プロセス冷却設備の省エネルギー化
2	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 優秀賞 〔新設設備部門〕	株式会社 ダイキンアプライドシステムズ (東京都港区)	株式会社 SUBARU 〔群馬製作所 北本工場〕 (埼玉県北本市)	大空間工場空調省エネルギーシステム
3	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 奨励賞 〔運転・保守管理部門〕	シー・エイチ・シー・システム株式会社 (東京都世田谷区) 大久保産業株式会社 (徳島県徳島市)	大久保産業株式会社 〔本社〕 (徳島県徳島市)	クラウドサービス(Ultimate IAQ)による室内空気質の ビッグデータを活用した空調機器の運転適正化による 省エネの実現
4	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 奨励賞 〔改修設備部門〕	三菱重工冷熱株式会社 (東京都港区)	カネフジ冷蔵株式会社 〔本社〕 (北海道北斗市)	自然冷媒CO ₂ 大型直膨ユニットを用いた 冷蔵倉庫設備改修にともなう省エネ化
5	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 奨励賞 〔改修設備部門〕	株式会社 三冷社 (東京都中央区)	関東運輸株式会社 〔県央センター〕 (群馬県玉村町)	地球環境の負荷低減を目指した CO ₂ 冷媒を使用した冷凍冷蔵設備